

浄財という考え方

『**浄財**』という文字、皆さんはどこかで見かけますか？普段、神社を見つけるとつい寄って、手を合わせることが多いと自負している私（単なる自称です）。賽銭を入れ、2礼2拍手1礼をして「今まで健康で過ごせてくれました。有難うございます。これからも、頑張ります。」と言い、家族の近況を心の中で伝え、再び有難うございます。と、出張等で見つけた神社でも繰り返しています。

ちなみに、2礼2拍手1礼、なぜ初めは2回礼をして終わりは1礼か知てますか？得意の余談です。諸説あるとは思いますが、大学時代にロシアとの関わりの深い、アイヌについてアイヌ民俗学専門の魚井先生（大阪外国語大学の出身で、とても魅力的で尊敬している先生）から勉強させていただきました。アイヌ語やアイヌ文化を学びました。アイヌ文化は日本の古い伝統文化に通じる部分が多々あります。神社での儀礼もそのひとつ。アイヌ語で神は＝カムイ（カムイ伝なんて漫画もありますね）。初めの2回は神様＝カムイと魔人に対して行います。社の前にはいつも神様と魔人が共存しているそうです。両方に必ず、挨拶をする。そして、2拍手（パンパンという合図＝儀式）により魔人だけを追い払い、神に近況報告やお礼やその他云々を伝える。そして、最後に話を聞いてくれた神にだけ1礼をするんだそうです。神社に行った際に、神様だけではなく、傍らに

いる魔人も意識して浄財箱の前に立たれてみてでもいいかもしれませんね。

* * *

さて、いつも通りずいぶん前置きが長くなりましたが、浄財について話を戻します。浄財と言う文字をどこで見るかの答えですが、先程の文章の最後に記したように、神社や寺のお祈りをする前に賽銭を入れる箱に書いてありますよね。神社や寺の維持運営のための寄付になります。

(※賽銭と浄財は厳密には意味が違うそうですが、ここでは分かりやすく区別せず表現しています。ご了承ください。)

* * *

皆さんは、寄付をしていますか？私は自分の出来る範囲で積極的にしようと思っています。団体に対しては、スペシャルオリンピックス・アイメイト・リレーフォーライフ・セイブザチルドレンに年間を通して定期的に。その他、まち中で見かける募金箱や、時々行く献血もその一環です。つい先日は、免許証更新の際に交通遺児のためにということで、一口2000円か3000円くらいの寄付もしました。これは、私の善人アピールをしている訳ではありません。皆さんも経験したことがあると思いますが、寄付をすると心が豊かになります。神社や寺の浄財箱にお金を入れて、お参りにすると心が清らかになりますよね。決して、賽銭入れた分の見返りがなかったじゃないかと言ったりしませんよね。

寄付をすることは、美味しいものを食べたり、旅行に行ったり、欲しい服を買ったり、友達と遊んだりした時に得る満足感とは少し違いますが、気持ちの部分での充実は同じ効果があると思います。そして、もっとも大切なのは心が豊かになること、それなんです。豊かな心の持ち主は、余裕があり、人に好かれ、あまりスピリチュアルなことは言いたくないのですが、お金にも好かれます。事実、世界一の富豪ビル・ゲイツ（2019年世界長者番付はAmazonのベゾスに次ぎ2位）は奥さんリンダと慈善基金団体、ビル＆リンダ・ゲイツ財団を2000年につくり、世界における病気・貧困をなくすことを目的に活動しています。2020年4月、新型コロナウイルスの脅威が世界中に蔓延している状況で、ワクチン開発のために日本円でおおよそ100億円を拠出したそうです。ちなみに、世界長者番付4位のウォーレン・バフェットは2006年に、この財団に300億\$を寄付して、基金の規模が倍増したそうです。

彼らは、お金があるから寄付をただけなのでしょうか？もちろん、お金がないと寄付は出来ません。しかし、少ない手持ちでも自分に出来る範囲で寄付という行為をする。その習慣こそが、心を豊かにし、より一層お金が集まり、多くの寄付を現在している。心が豊かにしておかないと、一時は多くのお金を手に入れても、長くは続かず（パーキンソンの法則に陥り→詳細は次回掲載します。）、その心のランクに見合った収入しか手にいれることが出来ないと言われています。

一時の幸福＝儚い夢で終わるのではなく、長く幸福を享受するために、寄付＝浄財は極めて有効な方法であると思います。ビル・ゲイツやウォーレン・バフェットのように、多額の資金を寄付することは今の私には出来ませんが、今自分に出来る範囲で寄付行為を続けて行きたいと思います。そして、仕事柄移動が多いため、仕事で訪れた場所場所で見つけた神社・仏閣を観光するついでに浄財箱に賽銭を入れ手を合わせ、家族が健康で過ごせていることに感謝したいと思います。最後に、1点おすすめです。お子さんがおられる方は家族でお出かけした際に、子どもにもお金を渡して一緒に寄付すること。そうすると、子どもにも浄財の習慣が自然と身に付くと思います。そして、子どもは必ず「なんであの人にお金をあげるの？」と聞きます。その時の答えは皆さん、準備しておいてくださいね。では、皆さんと共に『物心共に豊かな』と言うと、なんかやっぱりスピリチュアルな感じになってしまい、性に合わないので『気持ちの良い、ご機嫌な』毎日を過ごせたらと思います。

S L 2605－3220－6734

ソニー生命保険(株) 大分支社

〒 870-0029 大分市高砂町 2-50

オアシスひろば 21 9 階

TEL 097-532-9200

ライフプランナー 山田新悟